よこはま動物園ズーラシア アカアシドゥクラング―ルの「マニ」と「プク」が 周南市徳山動物園に出園します

令和4年7月20日(水)に、よこはま動物園で飼育しているアカアシドゥクラングールの「マニ」 (オス)と「プク」(メス)が、繁殖契約に基づき、周南市徳山動物園(山口県)に出園します。

出園する「マニ」と「プク」は、それぞれ別々の群れで生活していましたが、同じ年に生まれ、繁殖に適した年齢となりました。プクは妹にあたるライの面倒もよく見てくれる優しい個体です。一方、マニは最近は群れを離れ 1 頭で暮らしていましたが、穏やかな性格の個体です。

今回の出園に伴い、アカアシドゥクラングールの国内飼育園館が2園に増えます。 新天地で2頭が新たな家族を築いてくれることを期待しています。



▲出園する個体(愛称:マニ)



▲出園する個体(愛称:プク)

繁殖契約(ブリーディングローン)とは

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園ではこの契約に基づき動物を移動させることによって新たなペアを作り、繁殖に取り組んでいます。

当日の取材について

※動物の搬出当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。





指定管理者:(公財)横浜市緑の協会



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 045-959-1298

【参考資料】

■個体情報

・ 今回出園する個体

マニ (オス)	平成 29 年 4 月 23 日	よこはま動物園生まれ
プク (メス)	平成 29 年 5 月 20 日	よこはま動物園生まれ

■アカアシドゥクラングールについて

和名	アカアシドゥクラングール	
英 名	Red-shanked Douc Langur	
学 名	Pygathrix nemaeus	
分 類	霊長目 オナガザル科	
分 布	ベトナム、ラオス、カンボジア	
生態	熱帯雨林およびモンスーン林に 10 頭程の群れで生活しています。リーフイーター(葉喰いザル)の仲間で、木の葉や果物などを主食としています。以前は、南方に分布している脚の黒いクロアシドゥクラングールや灰色のハイイロドゥクラングールとともに亜種とされていましたが、現在では独立した種となりました。ベトナム戦争の時に、米軍によって散布された枯葉剤によって生息地の大半を失って数が激減したと言われており、生存が極めて危険な状態にあります。	
ワシントン条約 (CITES)		
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧種(EN): 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	
当園飼育頭数	11 頭(オス5頭、メス6頭) ※今回移動する個体を含む	
国内飼育園館	よこはま動物園のみ ※令和4年6月末現在	

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入 園 料:大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料

毎週土曜日は高校生以下無料(要学生証等)

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円

◆開園時間:9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)

◆休 園 日:毎週火曜日(祝・休日の場合は開園し、翌日休園)12/29~1/1 ※臨時開園あり

◆交 通:相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から

「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで

約1時間

◆U R L: https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/

◆住 所:横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先:045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。